

講義名	公務員特別演習			授業形態	
担当教員	河辺 有希生 / 河口 和範	開講期・曜日・時間	後期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

**主題と概要**

【目的】  
公務員特別演習は、公務員を目指す経済学部生を対象とする、1年後期（演習）から4年前期（演習）まで一貫したプログラムである。「究極のサービス業」とも呼ばれる公務員は、様々な分野で、多くの人々の暮らしを支える非常にやりがいのある職業である。したがって、この演習のみで合格できるほど公務員試験は甘くはない。また知識をただ暗記し、他者からの指示がなければ行動できない人材も求められていない。つまり公務員試験には、自ら考え、作問とともに正解のない問題に挑戦できる総合的な人間力が求められている（まさに本学が掲げる「ネアカのびのびへこたれず」の精神をもった人材）。そこで本演習は、高いモチベーションを維持しながら試験対策を効果的に継続できるように、様々なトピックを段階的に与えることで、公務員を目指す諸君をサポートしていく。

【内容】  
2年後期の公務員特別演習は公務員研究を意図した授業を展開する。自らの希望職種について、その仕事内容や直面する課題等を幅広く調べ、学期末レポートにまとめて提出する。そのレポートを作成するための準備として、公務員による講話、内定者交流会、街づくりの模擬体験等を行う。

【意義】  
本演習は、公務員を目指す受講生が自らの「夢の種」を育てることをサポートし、そして、受講生が「ネアカのびのびへこたれず」の精神をもった人材へと成長することを後押しするところに大きな意義がある。

**到達目標**

- ・希望する公務員について理解を深め、「なりたい自分」を目指した効果的な試験対策を進めることができるようになる。
- ・目指す公務員を行政職、公安職に明確にする。
- ・授業を通じて、主体的に考え、仲間と協力して行動する習慣を身につけられると同時に、文書作成、プレゼンテーションができるようになる。
- ・公務員試験や民間企業採用時に求められる「教養問題」の基礎を習得できるようになる。

**提出課題**

- 1 授業時に使用するワークシート
- 2 社会・地域課題のワークシート
- 3 教養課題のワークシート

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

クラス内で発表を行った際に、担当教員、クラスのアシスタント、外部講師からフィードバックが行われる。

**評価の基準**

- ・講義でのテーマ課題やディスカッションでの発言：約20%
- ・提出されたワークシート等の課題：約50%
- ・評価レポート：約30%
- 合計100点により評価する。

**履修にあたっての注意・助言他**

・本クラスは、真剣に公務員試験合格を目指す学生を対象とする。  
 ・少人数の演習形式を目指している。全員参加を基本とする（理由なく遅刻・欠席しないこと）。  
 ・本プログラムの学習のみで合格できるほど、公務員試験は甘くない。本クラスはあくまでも公務員志望者のサポーターである。受講生諸君が独自に試験対策を練り、自習を重ねる必要があることは言うまでもない。  
 ・学内の公務員試験対策講座（3年生から始まる有料講座）等の受講、もしくは外部専門学校での受講（ダブルスクール）も強くお勧めする。  
 ・「基礎技能2」以外の関連する正課授業も、順次、履修することが望ましい。  
 （共通）法学入門、経済学入門、政治学、財政学、地域まちづくり概論、業界研究（官公庁）  
 （行政職）民法A・B、憲法、行政学、地方行政論、地方財政論、経済数学、ミクロ経済、マクロ経済

**教科書**

--	--	--	--	--

**参考図書**

--	--	--	--	--

**その他**

- ・公務員特別演習（2年前期）で使用した教科書（公務員試験の教科書 論文・作文本 を本演習でも使用する（予定）。

**授業計画**

- 1 ガイダンス＋ミニ講義「最新公務員試験の動向」  
 <予習120分>公務員試験について調べる。公務員特別演習で学んだ内容を復習する  
 <復習120分>自分が興味ある公務員試験について調べる
- 2 論文の書き方・社会・地域課題 課題文 論文文・ディスカッション  
 <予習120分>論文で前時に指示があった項目を調べておく  
 <復習120分>講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
- 3 教養試験対策・社会・地域課題 課題文 論文文・ディスカッション  
 <予習120分>論文で前時に指示があった項目を調べておく  
 <復習120分>講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
- 4 教養試験対策・社会・地域課題 課題文 論文文・ディスカッション  
 <予習120分>自らの教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする  
 <復習120分>講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
- 5 教養試験対策・社会・地域課題 課題文 論文文・ディスカッション  
 <予習120分>自らの教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする  
 <復習120分>講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
- 6 教養試験対策・社会・地域課題 課題文 論文文・ディスカッション  
 <予習120分>自らの教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする  
 <復習120分>講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
- 7 教養試験対策・社会・地域課題 課題文 論文文・ディスカッション  
 <予習120分>自らの教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする  
 <復習120分>講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
- 8 実務者講話（監査官・審査事務）  
 <予習120分>実務者講話の公安職の仕事内容について調べる  
 <復習120分>講義での公安職の職務や具体的な課題と対策について、自分の言葉で表現できるようにまとめる
- 9 教養試験対策・社会・地域課題 課題文 論文文・ディスカッション  
 <予習120分>自らの教養試験の問題集で前時に指示があった項目の見直しをする  
 <復習120分>講義での教養演習の内容を解けるまで復習、課題文の内容を自分の言葉で表現できるようにまとめる
- 10 演劇（インプロ）ワークショップ・内部講義  
 <予習120分>演劇（インプロ）ワークショップの内容と心の変化について振り返る  
 <復習120分>ワークショップを体験して、考えたことや新たな自己発見を記録する
- 11 教養試験対策・社会・地域課題 課題文 論文文・ディスカッション  
 <予習120分>過去の公務員試験の面接の質問事項について調べる  
 <復習120分>講義での教養演習の内容を解けるまで復習、面接についての内容を復習し、質問内容に自分の言葉で応えることができるようにまとめる
- 12 教養試験対策・社会・地域課題 課題文 論文文・ディスカッション  
 <予習120分>前回の授業の振り返り、過去の公務員試験の面接の質問事項について調べ、どのように答えるか考える  
 <復習120分>講義での教養演習の内容を解けるまで復習、面接についての内容を復習し、質問内容に自分の言葉で応えることができるようにまとめる
- 13 評価課題＋論文文  
 <予習120分>これまでの学習内容を整理し、理解を深めておく  
 <復習120分>今回できなかった、理解が足らなかった項目について再度復習しておく
- 14 評価課題の返却と振り返り  
 <予習120分>今回できなかった、理解が足らなかった項目について再度復習しておく  
 <復習120分>理解を深め、見直しを行う
- 15 まとめ・振り返り・受験日程等の確認  
 <予習120分>これまで学んだテーマについて、見直し自分の言葉で課題・解決策について文章化する  
 <復習120分>授業の振り返り、また、講義を通して学んだことと、さらなる課題を文章化する。3年次生の受験日程について考える

上記のスケジュール、内容は変更の可能性があります。  
 授業の基本は、教養試験対策を2割、社会・地域課題についての学習が7割、ワークショップ1程度になる。

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A・L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

本演習は以下のディプロマポリシーと関連する。  
 【発達科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力】  
 「ネアカのびのびへこたれず」の精神をもった人材  
 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材  
 創造力 新しい視点と豊かな発想を持った人材  
 自主・自立の精神を持った人材  
 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材  
 「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」となるための基礎能力

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

河口 和範「実務経験なし」  
 河辺 有希生「実務経験あり」：高等学校教員（数学・進路指導） 教養（数的分野）、進路・面接指導について活用

**備考**

授業計画は2024年度のをベースにしています。調整を行う中で計画から変更される場合があります。